

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度第 1 回光輝学園コミュニティ・スクール協議会			
開催日時		令和 8 年(2026 年) 6 月 2 日 (火) 開会 13:20 閉会 15:30			
開催場所		つくば市立手代木中学校 B 棟 2 階被服室			
事務局 (担当課)		つくば市立手代木中学校			
出席者	委員	清岡 翔吾、舘野 清子、杉田 ひろみ 須藤 路子、江田 麻裕子、佐伯 朋子、鈴木 咲記 富田 基史、牧 陽子、木下 未佳 近藤 大雄、足立 透、吉岡 良治、野口 恵実 葛城小学校：校長 村田 健一、教頭 小松原 美香、 教務主任 笠松 晶 手代木南小学校：校長 石田 容之、教頭 矢口 紗希子 松代小学校：校長 横田 康浩、教頭 清水 匠、 教務主任 野尻 和幸 手代木中学校：校長 荒井 克彦、教頭 菅沼 祐子 教務主任 内田 尚樹			
	その他				
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 柴崎 英二 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏			
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	2 人	
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第 5 条第 1 号 (個人情報) に該当する情報を取り扱うため			
議題		「目指す児童生徒像に向けた教育活動の充実」 ～地域と連携した活動の充実に向けて～			
会議録署名人			確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 委員自己紹介 4 授業参観 5 説明・報告事項 ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について ・令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校				

	の連携事業予算計画について
6	会長・副会長の選出
7	協議 熟議テーマ「目指す児童生徒像に向けた教育活動の充実～地域と連携した活動の充実に向けて～」
	(1) 学校運営の基本方針（令和8年度グランドデザイン）について（各校長から）
	(2) 目指す児童生徒像に向けた今年度の具体的諸活動の在り方について（各校）
	(3) 全体共有・振り返り
	(4) その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について ・諸連絡等
8	閉会

1	開会
2	任命書交付
3	委員自己紹介
4	授業参観
5	説明・報告事項
	○令和7年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和8年度地域と学校の連携事業予算計画について
	① 葛城小学校 昨年度は、葛城版コミュニティ・スクールによる防災教室を実施した際に支出し、4年生全員が参加した結果、防災意識を高めるとともに地域との連携強化につながった。また、リサイクル活動の回覧作成等で支出し、地域のリサイクル意識の向上を図った。読み聞かせの会による活動では、大型絵本や紙芝居を購入し、児童と地域との交流や児童が本に慣れ親しむ機会を設けた。今年度も同様の支出を考えている。
	② 松代小学校 令和7年度予算は3つの内容で支出した。1つ目は学校支援ボランティア「松ボラちゃん」の活動費（除草作業での清掃用具・刈草処分料、図書修繕活動の用具、図書読み聞かせ活動の本など）。2つ目は、地域の人材を活用したゲストティーチャー授業への謝金（環境教育、野菜栽培、体力アップなど）。3つ目は、広報活動費（チラシ等印刷）。令和8年度も同様の支出を計画している。
	③ 手代木南小学校 令和7年度は年2回の美化作業を実施し、燃料代等に予算を充てた。また、おやじの会による手南まつりやもちつき大会等の行事でも消耗品費として活用し、地域交流を促進した。令和8年度はこれらを継続し、6月下旬に「赤ちゃん教室」、10月に「年輪アート」を新しく企画しており、地域連携を一層活発化させる予定である。
	④ 手代木中学校

令和7年度は、主に3つの事業で支出した。1つ目は防災教室。地域の防災士を講師として招き、専門的な視点から学びを深めることができた。2つ目は、8年生の職場体験学習。受け入れ先の選定に向けて、地域コーディネーターとサポート業者の力を活用し、充実した職場体験学習を行うことができた。3つ目は、環境整備活動。用具類を充実させて環境美化活動を推進することができた。令和8年度は、防災教室や環境美化活動での支出を計画している。

6 会長・副会長の選出

会長として足立透委員を、副会長として佐伯朋子委員を全会一致で選出。

7 協議

(1) 学校運営の基本方針について

① 光輝学園長（荒井委員）：光輝学園グランドデザインの説明

光輝学園の目標は「未来をひらく力を身に付け、夢に向かって自ら学び、一人一人が輝き活躍できる学園」である。小学校、中学校の9年間で、個別最適な学び、協働的な学び、情報の発信・交流をとおした深い学びを推進する。また、発達段階を考慮した学級担任・教科担任等の導入、教員同士の連携・協働等を図ることで、児童生徒も教職員も学び続け、成長していくことができるようにしていく。

② 葛城小学校（村田委員）：葛城小学校グランドデザインの説明

本校では、「夢や希望をもち、心豊かでたくましく生き抜く子どもの育成」を教育目標に掲げている。これを実現するために、3つの柱を「目指す児童像」として設定している。学校の在り方としては、「子どもが中心」であることを最優先とし、教職員のチームワークを基盤に保護者や地域の皆様から信頼される学校づくりを目指している。具体的な活動としては、「なかよし」「たくましさ」「かしこさ」をキーワードとして取り組んでいる。また、本デザインの最重要項目の一つが「地域とともにある学校づくり」である。葛城版コミュニティ・スクールとの連携をより一層深め、地域資源や外部人材を生かした特色ある教育活動や学校ボランティアの活用などを促進し、学校の情報を発信していく。

③ 松代小学校（横田委員）：松代小学校グランドデザインの説明

松代小の学校経営方針は「仲間と対話し支えあう、みんなが楽しい学校づくり」である。この達成のため、児童一人一人に対して、どんなことができるのか問いかけ、意識化を図っている。それにより児童・教職員全員が学校経営方針を意識して生活できている。具体的な取り組みとして「学びわくわく」「心ぽかぽか」「身体もりもり」の三分野を特に実践している。探究的な学びや、ルールメイキングによる対話的な関わり、栄養教諭を活用した食育指導などに取り組んでいる。また、地域とともにある学校を目指して、学校支援ボランティア「松ボラちゃん」を核に、地域学校連携活動を推進しているところである。

④ 手代木南小学校（石田委員）：手代木南小学校グランドデザインの説明
手代木南小の経営方針は「夢をもち、未来を創る学校づくり」である。児童、地域、教職員のウェルビーイングを目指し、子供も教師も「ワクワク」できる授業づくりを重視する。具体的には、学びと生活の結びつき、試行錯誤、多様な人々との学びによる気付きを促す。働き方改革として休憩時間の明記や計画年休の取得も推進し、教職員が健康で情熱をもって教育に専念できる環境整備を目指している。

⑤ 手代木中学校（荒井委員）：手代木中学校グランドデザインの説明

手代木中学校の学校教育目標は「人や社会とつながり 未来を切り拓く心豊かな生徒の育成」である。保護者・地域・学校の連携を土台としながら、生徒一人一人が生き生きと輝ける学校とするために、特に「つながり」を意識して、その他の重点項目「共感的な人間関係」や「協働」、「確かな学力」、「チャレンジ」、「自己選択・決定」の力の育成に向けて日々の教育活動を推進している。組織目標として掲げた「自ら高めよう 共に高め合おう」を教職員も達成できるようにしていく。

また、教職員の定時退校日の設定や最終退校時刻厳守の取組も進め、教職員が健康的に、充実した教育活動を推進していくことができるようにしていきたい。

（２）目指す児童生徒像に向けた今年度の具体的諸活動の在り方について

熟議「目指す児童生徒像に向けた教育活動の充実」

～地域と連携した活動の充実に向けて～

【ファシリテーター：近藤委員】

・話し合い（各校ごと）

① 葛城小

- ・リサイクル活動については、今年度から子どもたちにも参加してもらうことを始めた。活気があり、非常によかったので、12月も同様に行う予定である。
- ・今年度は、葛城キッズフェスや防災教室に加え、1年生の昔遊びや2年生の町探検をコミュニティ・スクールの活動としていく。
- ・環境整備が年に4回あるが、参加者が少ないという現状がある。地域の方に積極的に声をかけていくことを検討していきたい。

② 松代小

- ・本年度から活動内容を増やし、登録者ものべ120名を超えた。本年度は、どのように地域に広めていくか、どのように保護者の参加を促していくかが課題。
- ・地域への展開に際しては、CSコーディネーターの皆様の地道な声掛けのおかげで参加者が増えてきているが、限界もある。バトン方式で、信頼できる方を増やしていけるとよい。
- ・特に子どもと直接かかわる学習支援などの活動では、学校安全の視点からのリスクヘッジも大切にしていきたい。

- ・保護者の参加を増やしていくためには、活動することのメリットを提示したり、何をして欲しいのか具体的に示して募集する方法が効果的である。

③ 手代木南小

- ・令和8年度は美化作業、赤ちゃん教室（6月）、年輪アート（10月）、もちつき大会（12月）を計画中。これらを「コミュニティ・スクール事業」として位置づけ、地域へ積極的に発信する。
- ・今後は大人だけではなく、子どもの「やりたいこと」を大人が支援する活動も検討していきたい。例えばてみなみ祭りの子供企画などの実績を基に、子供の自発性を重んじる企画を発展させる。
- ・学年主任の協議会参加などを通じ、現場の教員が地域へ「困り感」を相談しやすい関係を構築する。CSコーディネーターとの連携周知をして認知を深めていきたい。
- ・2年後の創立50周年に向けた2カ年計画の始動についてCSでも考えていきたい。

④ 手代木中

- ・地域とどれだけつながっていけるかが大切である。つながりを深めるためには、まず、どのようなことをやっているのか、どのような地域の力を求めているか等を発信し、知ってもらうことが必要である。そのためにも、コミュニティ・スクール発信のチラシを作成・配付していきたい。
- ・これまでPTAで活動していた環境美化活動を、PTAとコミュニティ・スクールの共催とし、地域の方にも協力を呼びかけていきたい。学校をみんなの力でつくっていけるようになるとよい。
- ・防災会議に、地域の方も関わっていただき、地域とのつながり、連携を深められとよい。

（3）全体共有、振り返り

近藤委員 各校ごとに、これまでのPTA等での活動を生かしながら、地域とのつながり、地域の力の活用ができるように考えていることが分かった。地域の力、協力を得るためには、学校で何をしているのか、どのようなことを求めているのか、地域はどのようなことができるのか知っていく必要がある。

（4）その他

- ・今後の予定

今年度年3回開催予定

2回目は、令和8年8月5日 手代木南小学校にて開催予定

3回目は、令和9年2月17日 葛城小学校にて開催予定

8 閉会

※本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

令和８年度第１回光輝学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和８年６月２日（火） １３：２０～

場所：手代木中学校 被服室

次 第

１ 開 会

２ 任命書交付

３ 委員自己紹介

４ 授業参観（２０分程度）

５ 説明・報告事項

- ・令和８年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・令和７年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和８年度地域と学校の連携事業予算計画について

６ 会長・副会長の選出

７ 協 議

熟議テーマ「目指す児童生徒像に向けた教育活動の充実～地域と連携した活動の充実に向けて～」

- (1) 学校運営の基本方針（令和８年度グランドデザイン）について（各校長から）
- (2) 目指す児童生徒像に向けた今年度の具体的諸活動の在り方について（各校）
- (3) 全体共有・振り返り
- (4) その他
 - ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
 - ・諸連絡等

８ 閉 会



令和8年度 光輝学園 つくば市立手代木中学校
グランドデザイン



光輝学園教育目標

未来をひらく力を身に付け、夢に向かって自ら学び、
一人一人が輝き活躍できる学園

学校教育目標

人や社会とつながり 未来を切り拓く 心豊かな生徒の育成

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う

郷土を愛し協力し合う心を育てる

いばらき教育プラン

一人一人が輝く教育立県を目指して
～子どもたちの自主性
自立性を育もう～

目指す教師像

- ・教育に夢と情熱をもち、学び続ける教師
- ・生徒を生かし、伸ばす教師
- ・授業の工夫改善に励む教師
- ・チーム手代木の一員としての使命感のある教師
- ・教育の質を担保しながら業務の効率化を図り、働き方の改善に取り組む教師

- 月2回の定時退校日の定時退校達成率 100%
- 最終退校時刻厳守達成率 100%

目指す生徒像

- ・将来の夢や目標をもち、自分の可能性を広げることに積極的に挑戦する生徒
- ・自ら「問い」を見出し、自ら学び、学びの成果を発信・共有できる生徒
- ・お互いのよさや違いを認め合い、協力し、共に生きようとする生徒
- ・社会とのつながりを意識し、自己を向上させるとともに、自らの社会をよりよく変えていこうとする生徒

つくば市学び推進方針

みんなが幸せを実感できる学校
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、
みんなが生き生きとした学校～
○教えから学びへ
○管理から自己決定へ
○認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

光輝学園の目指す児童生徒像

9年間を見通して、未来を志向し、
夢や希望をもってたくましく生きる
児童・生徒

学校組織目標

自ら高めよう 共に高め合おう

確かな学力

- ・自ら学ぶ力を身に付け、自律的な学習者へ
- ・探究的な学びの実現
- ・習得した知識・技能を活用して整理・分析し、自らの考えをまとめ表現する力

チャレンジ

- ・夢をもち、自己実現に向けて挑戦する力
- ・失敗を次への学びと捉え、自らを高めるために再挑戦する力(レジリエンス)

協働

- ・多様な他者と関わりながら課題を解決
- ・他者の考えを理解し尊重する力
- ・自分の考えを適切に表現する力
- ・対話を通してよりよい解決策を生み出す力

生徒・そして教師も

生き生きと輝ける学校

～幸せを感じながら～

自己選択・決定

- ・自らの考えをもち、自ら判断し、自己決定して行動する
- ・自らの目標に向かって、調整しながら達成しようとする

共感的な人間関係

- ・互いに尊重し合う(個性や多様性を認める)
- ・認め合い、励まし合い、支え合う
- ・感謝の心(ありがとうが溢れる日常)

つながり

- ・互いを尊重し、信頼でつながる関係づくり
- ・地域や社会とのつながりを意識し、その一員としての責任ある行動(規範意識 あいさつ)
- ・よりよい社会づくりへの参画意識

地域に
愛される学校

地域を
愛する生徒

コミュニティ・スクール

保護者、地域、学校が協働しながら
子供たちの豊かな成長を支える

保護者・地域・学校の連携が土台

～保護者が幸せ・地域が幸せ～

安心・安全な学校

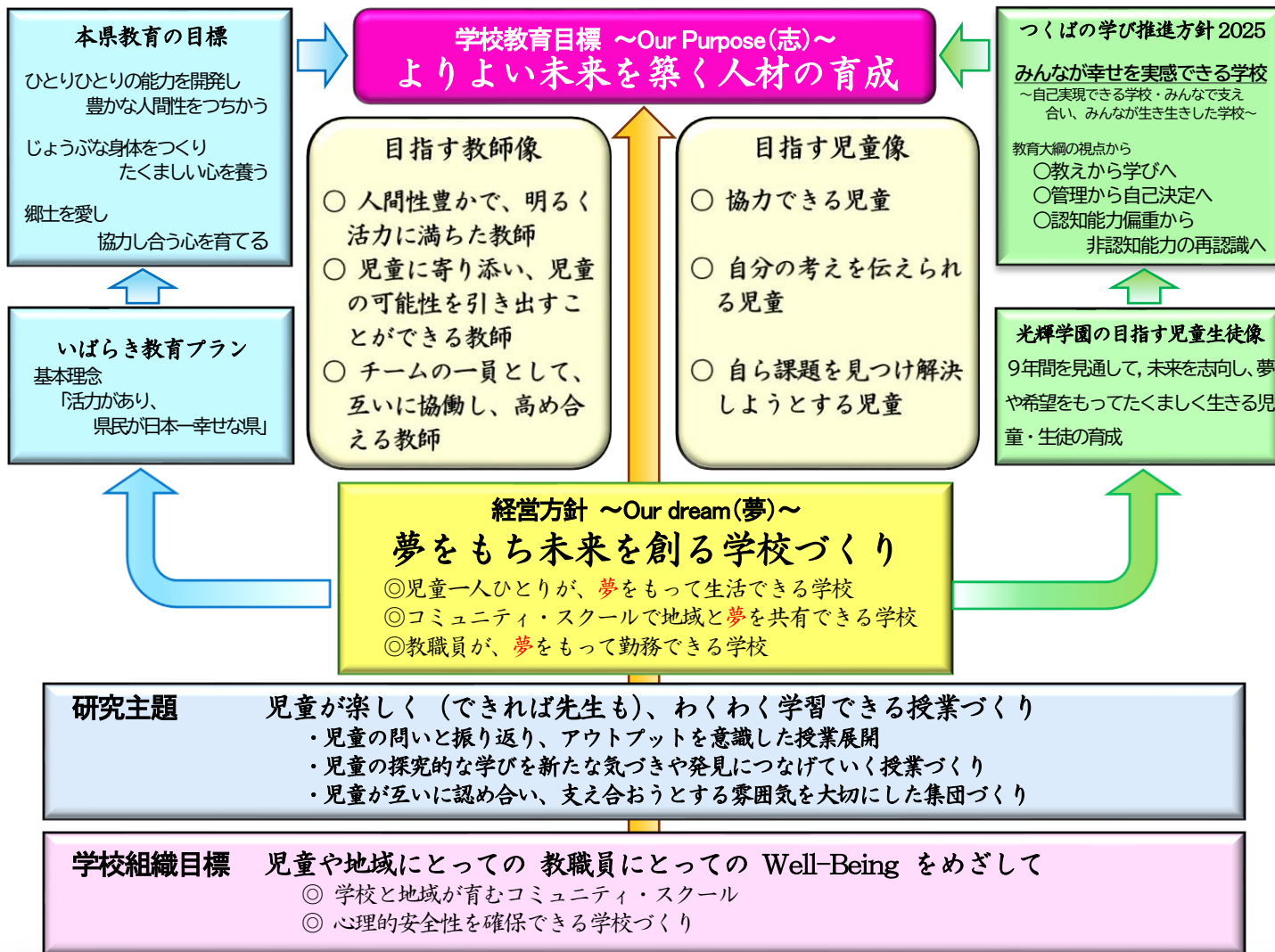
あいさつの輪で広がる・つながる
コミュニティ



令和8年度 光輝学園
つくば市立手代木南小学校 グランドデザイン



光輝学園教育目標
未来をひらく力を身に付け、夢に向かって自ら学び、
一人一人が輝き活躍できる学園



「教えから学びへ」の授業改善と
探究的な学びの充実

- ・ 探究していく課題への転換
- ・ 話し合い、アウトプットの重視

「管理から自己決定へ」の意識改革

- ・ 探究の対話(p4c)による、対話
や合意形成を重視した学校風土
づくり
- ・ 考え議論する道徳の推進

自己肯定感・自己有用感を育む
学校・学級づくりの推進

- ・ 一人一人の教育的ニーズに応
じた支援の充実
- ・ 共感的な人間関係の育成

～Our Belief(信念)～

- ◎ 失敗してもその挑戦を称えよう
(good try)
- ◎ Best より Better をめざせ
- ◎ 人と違った「いいね！」を育てる

健康・安全への自己管理能力の育成

- ・ 児童の実態を踏まえた体育学習
の充実
- ・ 発達段階に応じた健康教育、安
全教育の実践

安全・安心な学校づくりのための
家庭・地域との連携

- ・ 危険予測、危険回避能力向上
のための指導の工夫
- ・ 地域の教育力の積極的活用

教職員の資質・能力の向上と働き方
改革の推進

- ・ 校外研修への積極的参加の推進
- ・ 休憩時間の確保、計画年休の取
得等の働き方改革の推進



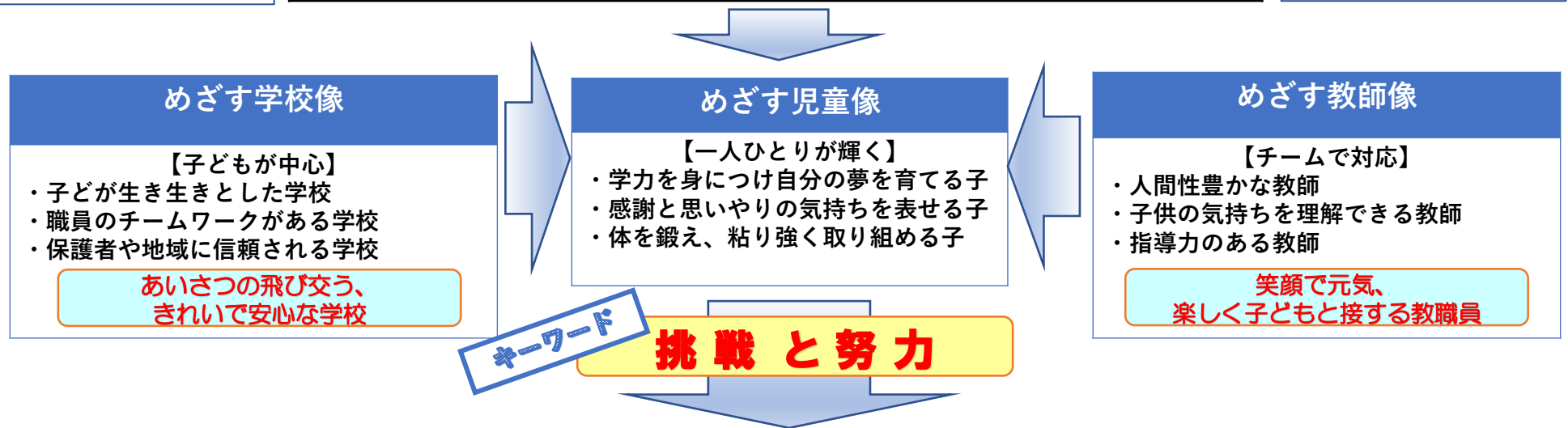
令和8年度 葛城小学校グランドデザイン



光輝学園教育目標
未来をひらく力を身に付け、夢に向かって自ら学び、一人一人が輝き活躍できる学園
本校の教育目標
夢や希望をもち、心豊かでたくましく生きぬく子どもの育成
本校の組織目標
子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育活動の推進

本県教育の目標
ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う 郷土を愛し協力し合う心を 育てる

つくば市教育大綱の実現
○「教え」から「学び」へ ○「管理」から 「自己決定」へ ○「認知能力偏重」から 「非認知能力の再認識」へ



なかよし 【豊かな心の育成】	たくましさ 【健やかでたくましい身体の育成】	かしこさ 【確かな学力の育成】
★◎心に届くあいさつの推進 ・教職員の率先垂範 ・あいさつを意識化させる指導の工夫 ・保護者・地域との連携協力 【すすんであいさつができる 85%】 ◎自己肯定感の育成 ・「ねらい」を明確にした特別活動・行事の実践 ・事前・事後指導の充実 ・仕組んでほめて伸ばす学級経営の推進 【学校生活が楽しい 95%】 【友達と仲良く生活している 95%】 ○多様化社会に対応する教育の推進 ・情報モラル教育の充実 ・E S D教育の推進	★◎健康安全教育の充実 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の定着 ・「せいかつのきまり」を根拠にした指導の徹底 ・危険予測・回避能力の育成 ・真剣に取り組む避難訓練の指導 ・保護者との連携協力体制の構築 【朝食を毎日食べている 90%】 ★◎進んで運動に取り組む態度の育成 ・業間や昼休みにおける外遊びの習慣化 ・職員の共遊 ・体育授業時のサーキットトレーニングによる体力の向上指導の充実 【体力テスト A + B 45%】	★◎基礎的・基本的な知識・技能と思考力、判断力、表現力を育む指導の工夫 ・「ねらい」「見通し」の明確化と学習課題設定の工夫 ・学習規律の確立 ・ICTを活用した「わかる授業」の展開 【学習内容がわかる 90%】 ◎個別最適な学びと協働的な学びの充実 ・探究的な学びのある授業の工夫 ・自分の考えをもたせる指導の徹底 ・対話を通して考えを伝え深める活動の充実 【自分の考えをもって学習に取り組める90%】 【対話を通して課題解決している 90%】 ○特別支援教育の充実 ・UDを意識した指導支援 ・チームサポート体制の確立

安心・安全な学校づくり	教職員の資質向上
・定期的な安全点検による、学校施設の安全確保 ・交通安全指導の充実（交通安全教室等） ・地域との連携による学校防災連絡会議の実施 ・関係機関との連携による通学路の安全確保	・働き方改革の推進とP D C Aサイクルによる学校業務改善 ・服務規律の確保 ・「自分事」として捉えるコンプライアンスの確保 ・教員評価・校内研修・研究による授業力向上

地域とともにある学校づくり	
・葛城小応援団との連携 ・葛城版コミュニティ・スクールとの連携 ・学校教育活動の積極的な情報発信 ・学校・学園評価の活用	・光輝学園コミュニティ・スクールの推進 ・地域資源・人材を生かした特色ある教育活動の実践 ・学校ボランティアの活用促進 ・保幼小連携の強化

◎・・・教師の重点項目 ★・・・児童にも重点として意識させる項目



令和8年度 光輝学園

つくば市立松代小学校 グランドデザイン



光輝学園教育目標

未来をひらく力を身に付け、夢に向かって学び一人一人が輝き活躍できる学園

学校教育目標

豊かな心と創造力にあふれ、
たくましく生きる児童の育成

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う

郷土を愛し
協力し合う心を育てる

つくば市教育大綱

最上位の目標
一人ひとりが幸せな人生を送ること
考え方の転換
・「教え」から「学び」へ
・「管理」から「自己決定」へ
・「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

目指す教師像

- 教育への情熱をもち
学び続ける教師
- 児童と保護者の気持ちに寄り添う教師
- 心身ともに
健康な教師

目指す児童像

- 自ら進んで学ぶ子
- 感性豊かな
心をもつ子
- 未来をひらく
たくましい子

光輝学園の目指す児童生徒像

9年間を見通して、未来を志向し、
夢や希望をもってたくましく生きる
児童・生徒

いばらき教育プラン

基本理念
「活力があり、
県民が日本一幸せな県」

経営方針

仲間と対話し支えあう、みんなが楽しい学校づくり

光輝学園研究主題

未来をひらく力を身に付け、夢に向かって学ぶ児童の育成
～個別最適な学びと協働的な学びをつなぐ学習活動を通して～

学校組織目標

- 1 児童同士をつなぎ、主体性・協働性を高める授業づくり
- 2 互いに認め合い、自分を安心して表現できる学年・学級づくり
- 3 児童と向き合う時間の確保とワークライフバランスを意識した働きやすい職場環境づくり

学び わくわく

- 1 学ぶ楽しさを実感できる「子供を主語」にした授業づくり
・考えを広げ深めるための「対話（協働）」による学びの充実
・一人一台端末の活用推進
・学習意欲を高める学習課題の工夫
・学習の見通しや振り返りの重視
・単元全体を通した授業づくりと付けたい力の児童との共有
- 2 自ら探究し学び込む自律的な学習者の育成
・個別最適な学びと協働的な学びをつなぐ学習活動
・ねらいのある「子供に委ねる場面」の設定
・自らの課題を把握して取り組む家庭学習
- 3 指導体制の工夫
・中・高学年における一部教科担任制の導入
・相互授業参観の日常化と教材の共有

○児童アンケート（肯定的回答）

「学校生活が楽しい」

95%以上（昨年度90%）

「楽しく生活するため考えて行動している」

90%以上（昨年度84%）

心 ぽかぽか

- 1 思いやりの心を育む学校づくり
・ルールメイキングを活用し、納得解を導く力、折り合いをつける力の育成
・温かい言葉であふれ、互いに認め合い、自分を安心して表現できる「心理的安全性」のある「居場所」としての学級づくり
・「他者への受容感」を高める活動の充実
・係活動・委員会活動・異学年交流の充実
- 2 自己管理能力を高める取組の推進
・児童の心に響く道徳科の授業実践
・自己決定する場の日常化
・あいさつや感謝の言葉が自然に出てくる児童の育成
- 3 みんなが幸せになる特別支援教育の充実
・特別支援教育コーディネーター等を中心とした校内支援体制の構築
・合意形成に基づく合理的配慮の提供

○児童アンケート（肯定的回答）

「授業に進んで取り組んでいる」

90%以上（昨年度88%）

「意見を出し合って学習課題に取り組んでいる」

90%以上（昨年度87%）

身体 もりもり

- 1 進んで運動に親しむ児童の育成
・体を動かす楽しさを実感できる授業づくり
・十分な運動量を確保できる授業展開や場の工夫
・リズムジャンプを活用した体力の向上
・業間・昼休みの外遊びの推進
・体力テストの結果の活用と個々の発達段階に応じた指導の充実
- 2 健康の保持増進のための実践力の育成
・養護教諭と連携した保健教育の実践
・家庭と連携した保健教育、薬物乱用防止教室等の実施
- 3 望ましい食習慣の形成と自己管理能力の育成
・栄養教諭と連携した食に関する指導の充実
・早寝・早起き・朝ご飯の推奨

○体力テスト総合評価A+Bの割合

50%以上（昨年度39%）

○児童アンケート（肯定的回答）

「健康的な生活を心掛けている」

90%以上（昨年度86%）

安全・安心な学校づくり

- 1 全教職員による危機管理マニュアルの見直し・改善と効果的な避難訓練の実施
- 2 定期的・日常的な安全点検の実施と適切な処理
- 3 地域との連携による学校防災力の強化

教師力・学校力の向上

- 1 互いに学び合う校内研修の充実（相互授業参観の推奨）
- 2 教員評価を活用した人材育成と学校の活性化
- 3 教師の人間性や創造性の向上
- 4 効果的な教育活動の展開を目指した働き方改革の推進

地域とともにある学校づくりの推進

- 1 コミュニティスクール導入へ向けた推進会議の充実と情報の積極的発信
- 2 ホームページや学校だより等を通じた情報発信
- 3 学校支援ボランティア（松ボラちゃん）の有効活用